



ケアマネ みやざき



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.28
令和4年1月1日発行
発行責任者
担当理事 坂口和幸

「会長挨拶」

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返すコロナウイルスによって新たな感染拡大を繰り返し、特に昨年の第5波はそれまでとは比較にならないほどの感染拡大となりました。新型コロナウイルス感染症がもたらした混乱は政策としての人流抑制等に繋がり、介護支援専門員が行うべき対人援助が困難となり、利用者に対するケアマネジメントそのものに支障が出ることになってしまったことは否めません。今なお、全世界中で毎日多くの感染者が報告されています。社会構造も大きく変わり、さまざまな行動変容がもたらされました。法定研修をはじめ、各種研修が延期になったり、開催できても規模縮小の上でのWeb研修がほとんどでした。事務局スタッフや担当理事、関係各位は日々、関係機関等との調整を細かく執り行い、これまで大きな問題を抱えることもなく乗り越えてこられてきたことに感謝します。

高齢者福祉施設等でのクラスター発生や結果として隔離や入院治療を余儀なくされた利用者は認知症が悪化したり、極端なADL低下につながったのはご存知の通りです。スタッフ本人は倫理に従って勤務し続けようと考えても、家族や知人の勧めで介護の現場から多くの介護スタッフが離職しましたが、私たち介護支援専門員の仲間も例外ではありませんでした。日々、いろんな不安に苛まれながらの業務遂行だったのではないのでしょうか。

さて、利用者の自立支援・重度化防止を主眼とした国の介護保険制度も大きな改革の時期を迎えています。厳しい環境の中でも介護支援専門員が「魅力ある職種」であり続けるためには、積極果敢に取り組まなければならない課題がまだまだ山積しています。私たちは介護支援専門員という職種を堅持するために強固なガバナンスを継続することが必要であり、そのことがすなわち社会的地位の向上につながるものと信じて疑いません。そこにはほかの職能とのチーム医療・ケアが重要であり、私たちはまさしくその要としての地位を確立し続ける必要があります。近年、社会から要請されて担う私たちの業務は介護保険の枠を超えて拡大する一方で、通院時の医療機関との情報連携強化や災害時の被災者支援など、地域を支える担い手として認められる存在となっています。介護保険制度が発足して令和4年4月（2022年）で22年を迎えます。私たち介護支援専門員は災害時や感染症蔓延の中でも専門的知識及び技術を提供してサービス利用者の日常生活を支援し続け、人生の最終章まで伴走者として寄り添うことを旨として、自らの質を益々高めて参りましょう。

最後に、今年は6月4、5日に「第16回一般社団法人日本介護支援専門員協会 全国大会 in みやざき」と「第14回九州・沖縄ブロック研究大会」を同時開催いたします。「超克 それぞれが次の時代の先導者へ」～日本のひなた 宮崎から～というテーマに、時代とともに要求される介護支援専門員の役割とともに、期待される存在価値への想いを盛り込んでいます。コロナ禍のような思いもよらない災禍に苛まされている時だからこそ、あらゆる困難を超克して、過去からの学びを糧に、次の時代の先導者たる期待に応えられるような学びの場にしたいと思えます。特別講演では宮崎出身の柔道家で柔道日本代表前監督として、東京オリンピックで世界一多くのメダルを獲得した日本柔道選手を率いる、世界に誇れる名だたる指導者の井上康生さまに講話をいただきます。私たち介護支援専門員に力強いエールを送ってくださることと楽しみにしています。ぜひとも多くの介護支援専門員の皆さまにご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年新年広報誌ケアマネみやざきに寄せて



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷義秀



高齢者施設等への応援職員を対象とした 感染症対策および防護服着脱に関する研修



令和3年12月8日（水）と9日（木）に、宮崎県立看護大学の邊木園幸准教授を講師としてお迎えし、ニューウェルシティ宮崎にて表記研修が開催されました。

高齢者施設等において利用者や職員に感染者が発生した場合、感染者である職員は、入院若しくは自宅療養又は宿泊療養、濃厚接触者である職員は自宅待機となり、事業所内での勤務体制の変更や同一法人内での職員の確保・調整等を行なってもなお職員が不足する場合は想定されます。このような場合に備え、応援職員派遣や代替サービスの提供が可能となるよう、個人及び事業所の皆様に宮崎県が登録をお願いしております。

今回、ご登録いただいた方に対して、派遣される場合においても正しい知識と技術を備えていただくための研修を、宮崎県介護支援専門員協会が宮崎県より受託し開催いたしました。

邊木園先生は、感染症対策は組織で取り組むことが重要であり、日頃の標準予防策が適切に実施できていることが大前提であると訴えられました。参加者の皆様も真剣に取り組まれておられました。



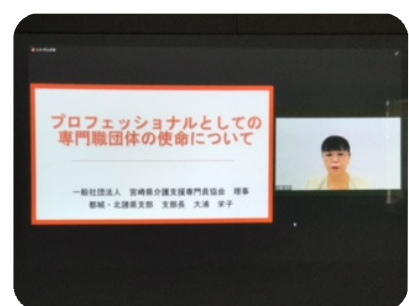
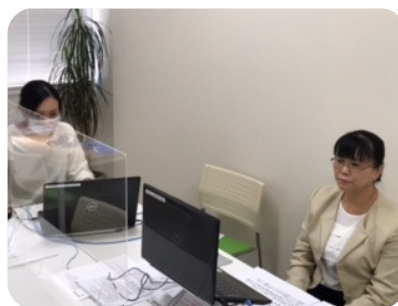
第13回日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック研究大会 inおんせん県おおいた開催



令和3年10月23日（土）に、第13回日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック研究大会 inおんせん県おおいたが、「地域共生社会におけるケアマネジメントのあり方とその可能性」をテーマに、ZOOMを使用して開催されました。

開会セレモニーでは、大分県立中津北高等学校書道部による書道パフォーマンスが繰り広げられ、画面上からでも熱気が伝わってくる素晴らしいパフォーマンスでした。お見逃しの方は、大分県介護支援専門員協会のホームページから見るすることができますよ(^^)／

午後からは、シンポジウムが開催され宮崎県介護支援専門員協会からは大浦栄子理事が「プロフェッショナルとしての専門職団体の使命について」と題し、発表しました。ケアマネジャーの技（わざ）・術（すべ）・力（ちから）を感じさせられる大会となりました。





第16回一般社団法人日本介護支援専門員協会 全国大会 in みやざき 大会概要決定!!



大会テーマ

「超克 それぞれが次の時代の先導者へ」 ～日本のひなた 宮崎から～

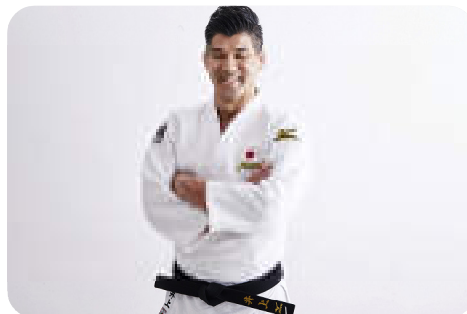
令和4年6月4日から5日にかけて、シーガイアコンベンションセンターを会場に開催される第16回日本介護支援専門員協会全国大会 in みやざきまで半年となりました。

「超克 それぞれが次の時代の先導者へ」～日本のひなた 宮崎から～をテーマとし、開催概要も決定しました。

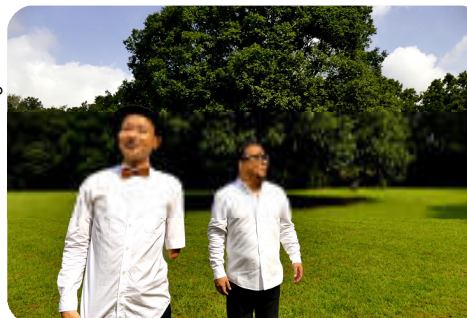
6月4日の開会セレモニーでは、全国の皆様に宮崎の夜神楽を感じていただこうと、高千穂町から岩戸五ヶ村神楽保存会の皆様に、会場にて舞を公開していただくことになっています。宮崎にいながらも、なかなか見ることのできない『高千穂の夜神楽』、楽しみですね。



また、特別講演では、宮崎県出身で切れ味鋭い内股を武器に、豪快な攻撃型柔道で数々の結果を残し、2000年シドニーオリンピック100キロ級で金メダルを獲得。2012年11月より全日本男子監督を務め、東京オリンピック2020では史上最多の5個の金メダル獲得へと導いた井上康生氏に「闘う意義 ～克服する力～」と題しご講演いただくこととなっています。こちら也非常に楽しみな内容ですね。



夜の懇親会も非常に楽しみな内容が企画されています。積水ハウスのCMソングでも有名な「アルケミスト」のお二人に生ライブを披露していただくことになっています。即興で作詞作曲していくライブコーナーは圧巻で、心を揺さぶられるのは必至です。



6月5日は、「介護支援専門員の将来を考える」と題してモーニングセミナーを予定しています。介護支援専門員の役割も研ぎ澄まされた今、さらに発展していくためにも、このモーニングセミナーで得られるものは大きいのではないのでしょうか。

モーニングセミナーの後には、分科会が予定されております。第1分科会から第5分科会まで設定されており、どの分科会のキーワードを見ても非常に興味がわく内容となっています。全国の介護支援専門員がどのような取組みをされているのか知る貴重な時間になること間違いなしです。申込期間は令和4年4月29日までとなっております。多くの皆様のお申し込みをお待ちしています。

全会員で協力して全国大会を成功させましょう!

倫理の手引き発行について

一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会より「倫理の手引き」が発行されました。発行に寄せ倫理委員会担当の児浪俊之理事にお話をお伺いしました。以下は児浪理事のコメントです。

この度、倫理委員会にて、介護支援専門員の私たちが高い倫理観を持ちながらケアマネジメント業務を遂行できる、そのようなきっかけとなるよう介護支援専門員倫理綱領すべての条文を網羅した事例集「倫理の手引き」を作成させていただきました。

この「倫理の手引き」に記載している事例を通して専門的倫理をより身近に感じていただきながら、自己チェックや研修会、勉強会など多くの場面で活用していただくことを期待しています。

今後「倫理の手引き」は当協会より販売する予定となっておりますが、今回は、会員特典として無料にて配布させていただきます。皆様のデスクからすぐに取り出せる場所に置いていただけると幸いです。

また、「倫理の手引き」を活用した研修会等の開催に関するご相談がありましたら、当協会事務局までご連絡ください。



宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

令和3年12月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	614	12
小林・えびの・西諸	103	0
西都・児湯	118	0
日南・串間	137	0
都城・北諸県	226	2
日向・東臼杵	141	0
延岡・西臼杵	167	1
鹿児島県	2	0
合計	1508	15

令和3年12月2日に今年度の介護支援専門員試験合格発表がありました。宮崎県では151名が合格者しました。一人でも多くの合格者が県協会へ入会していただくよう、会員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

明けましておめでとうございます。

本年も昨年同様よろしくお願いいたします。

早速ですが、右の写真の物が何かお分かりになりますか？
そうです、これは東京2020オリンピックの聖火リレーで実際に使用されたトーチです。桜をモチーフとしたデザインに、新幹線の製造にも使われている製造技術を用いて、継ぎ目のない、ひとつなぎのトーチとなっています。

実はこのトーチは、ケアプランセンター家路（宮崎市）で介護支援専門員をされている緞川易典さんが、多くの人に触れてほしいとのことで高齢者施設や保育園などに貸し出されているものです。実際に手にしてみたらやっぱり興奮しましたよ。緞川さんありがとう。 KS

